

KADONO

創刊号

KAMIYA SHUNICHI
OFFICIAL
SNS
FOLLOW ME!



ご挨拶

第29代 千葉市長
神谷 俊一

に込められているか自問自答する日々でしたが、市制施行100周年の節目の年に、今後10年間のまちづくりの方向性を示す基本計画の検討も合わせて進めることができました。千葉市には依然多くの課題が山積しています。

千葉開府900年に向けた郷土の歴史を大切にする取り組みなど、枚挙にいとまがありません。令和4年は政令市に移行して30周年。これからの新たな歩みを皆様とともにしながら千葉市を前に進めてまいります。

市民とともに考え 市民とともに歩む

「対話と現場主義」、「まもる生活、動かす経済」を基本姿勢に「5つのビジョンと11の約束」を掲げ、皆様にお支え頂いて令和3年3月21日の千葉市長選で初当選させていただいてから早1年。新型コロナウイルス対策に奔走し、市民の負託

コロナ禍で停滞した社会経済活動を元に戻していくことに加え、都市公園の再整備、交通の広域ネットワークの充実による都市機能のさらなる充実、厳しい状況にある子どもたちへの支援、豊かな自然環境を将来世代に引き継いでいく取り組み、

対話と現場主義、これからも！

教育センター、児童相談所、動物保護指導センターの若手職員とのミーティングを開催！

千葉市のICT教育をリードする教育センター、年々役割と責任が大きくなっている児童相談所と動物保護指導センターの若手職員とのミーティングを行いました。現在の課題やあるべき仕事の進め方について日頃の業務で感じることを意見交換しました。千葉市教育の充実、市民の皆さんに頼られる場所となるよう力を合わせていきます。



「市長と語ろう会」地域、NPOの方々と対話を33回開催

令和4年3月までにリアル、オンライン合わせて20回の「市長と語ろう会」のほか、市内で活動されるNPOの皆さんとの「ティーミーティング」を13回、計33回開催し、市民の皆さんが地域で向き合っておられる課題を直接伺い、市政に反映しています。今後も定期的に開催しますので、是非ご意見をお寄せください。

令和4年度予算「安全・安心」「都市機能」の磨き上げ予算

市長選での公約を着実に実現していくための令和4年度予算が千葉市議会でも可決されました。私にとりまして初めての予算編成作業となり、新型コロナウイルス対策を継続しながら新庁舎整備などの大型事業の支出が重なる年度に当たるなど、財源の確保が非常に難しいものでしたが、市民の安心・安全の確保にさらに注力した上で、不登校や児童虐待対策など厳しい状況にある

市民の皆さんとともに！

コロナ禍での社会経済情勢の変化は著しく、千葉市も人口減少局面を遠からず迎える一方、令和3年は東京都から千葉市への人口動態が転入超過に転じ、全体でも全国6位の5920人の転入超過となりました。職住近接が可能で豊かなライフスタイルが実現できる千葉市の環境が改めて評価されています。誰もが安心と豊かさを感じられる千葉市の未来を創っていくために、皆様とともに将来のため全力で取り組んでまいります。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

子どもたちへの支援策や広域道路ネットワークの整備、都市公園のリニューアル事業など、市民の安心・安全と都市機能をさらに磨き上げる予算を編成できました。個人や事業者の方々に千葉市を選んでいただき、長く暮らし続けられるまちづくりを進めていきます。



プロフィール

神谷俊一
1973年 8月31日 愛知県生まれ
1996年 東京大学経済学部卒業、旧自治省入省
2001年 在ヨルダン日本国大使館イラク戦争に遭遇、邦人保護の危機管理を経験
2004年 佐賀県農林水産商工本部新産業課長
2010年 佐賀市副市長
2013年 千葉市経済農政局経済部長、経済農政局長を歴任
2015年 千葉市副市長に就任
2018年 消防庁国民保護・防災部広域応援室長
西日本豪雨等で緊急消防援助隊出動を指揮
2020年 総務省自治行政局外国人住民基本台帳室長を最後に退官
2021年 過去最高得票で千葉市長に当選
当選翌日から登庁し、コロナ対策などの諸問題に奔走中

神谷しゅんいち 後援会事務所

〒260-0013
千葉市中央区中央3-3-9 MF9ビル302号室
(1階に中華料理店「酔盧」)
TEL: 043-441-3233 FAX: 043-441-3234
HP: <https://www.kamiya-shunichi.jp/>
Email: chibacity@kamiya-shunichi.jp

「葛野会」の謂れ

「千葉」という名の由来に、「千葉の葛野を見れば百千足(もちだ)る家庭(やにわ)も見ゆ国の秀(ほ)も見ゆ」という歌があります。応神天皇が、宇治野の丘から葛野を眺めて詠んだ国土讃歌です。「千葉」は、「葛」と言う言葉に掛かる枕詞で、「千の葉」で葛の葉が豊かに生い茂る様を表し、後半の国の繁栄にも重なります。「葛野会」という名前は、この歌からいただいた千葉ゆかりの名前です。



市内には約80か所の金属スクラップヤードがあります。地元事業者によるしっかりとした管理のヤードもありますが、不適切な管理により火災が発生するなど市民生活が脅かされる事例が頻発しています。生活環境を守るため、懲役、罰金刑のある事前許可制を導入する条例を全国で初めて制定し大きな注目を集めています

全国初の金属スクラップヤード条例を制定



全国初の取組など
千葉市の未来を
切り拓いています



市長選で掲げた
「新型コロナ・緊急対策」
すべてを着実に実施！

新型コロナウイルス感染症対策と日常を取り戻す取組の両立と、危機管理・防災体制の構築として掲げた6項目の緊急対策を市長就任後の1年間で着実に実現しています。



対策01 新型コロナワクチンの2回目接種率は88%、3回目接種は全国でも早く進んでいます。

1・2回目については、国からのワクチン供給量が一時不足し予約が取りづらい状況が続きご迷惑をおかけしましたが、配分ルールの変更を国に求め供給量が増加。市医師会の全面的なご協力のもと、市内330か所以上の個別医療機関と公共施設での集団接種を実施するほか、働く人向けの夜間接種、妊婦・受験生・中高生・教職員への優先接種など生活様式に合わせた接種枠を確保してワクチン接種を加速しました。

対策02 習いごと応援キャンペーンを実施。コロナ禍で影響を受ける事業者の方に最大70万円の協力を支給

コロナ禍で市民の学びの機会や自宅にこもりがちの方々の健康が損なわれています。文化・教養講座や資格取得、スポーツ・健康づくりを始められる方に受講料の50%を補助する「習いごと応援キャンペーン」を実施しました。全国的にも反響は大きく、コロナ禍で影響を受けた市内のサービスマスターの事業継続の支援にもつながりました。

学び直しを応援するため、令和5年に公立夜間中学を開校します。



何らかの事情で義務教育を十分に受けられなかった方の学び直しを応援する公立夜間中学を令和5年に開設することを決定しました。担当の教員の方々にカリキュラムなど準備を精力的に進めていただいています。

農業の担い手養成に着手

民間企業と連携して農業を志す若年層を対象にした就農研修を1月から開始しています。農政センターの温室やビニールハウスで農園の経営を経験してもらい、農業経営のノウハウや生産技術を習得してもらいます。

千葉県と千葉市の連携推進会議を開催

熊谷知事と私による連携推進会議を開催しています。今年度は消防防災ヘリの共同運航と県と市で別々になっている水道事業について、県市間連携により効率的で質の高いサービスを県民・市民に還元していきます。



対策03 成人式代替企画「もうひとつの成人式」を開催

1月に中止となった成人式の代替企画として、10月に千葉公園に新たにオープンしたHUSTON DOME CHIBAで「もうひとつの成人式」を開催しました。私から新成人のみなさんに「結論ありきではなく自分で観て聴いて何がベストなのか考え抜くことで、これからの不確かな時代にしっかりと自分の道を拓いてほしい」とエールを送りました。

対策04 全年齢を対象にインフルエンザワクチン接種の助成を実施

新型コロナに加え、インフルエンザが流行すれば、新型コロナ対策に奔走する医療現場にさらなる負担を

通学路の安全対策を緊急に実施しました。



八街市での痛ましい事故を二度と起こさないために小学校の通学路を緊急点検し、549か所のすべてで学校によるスクールウォッチャーの配置等、519か所で千葉市が路肩のカラー化や防護柵の設置を行います。

ふるさと納税リニューアル！

毎年30億円弱の財源がふるさと納税で市外に流出してしまっています。千葉市らしさのある返礼品を用意して11月から千葉市も本格的にふるさと納税の受入れを開始しました。市外で生活されるかつて千葉市で育った方々に応援してもらえように取り組んでいきます。

9都県市首脳会議の座長を務めました。

関東の1都3県5政令市で共通の社会課題に連携して取り組むために知事と市長で定期的な意見交換をしています。昨年度は私が座長として、新型コロナ対策や経済対策、地方分権等について意見を交わし、全国をリードする役割を果たしました。

対策05 令和4年1月から第3子以降の給食費無償化を実施しています。

コロナ禍で子育て世帯にも大きな影響が出ています。特に多子世帯は家計の負担が大きいことから、第3子以降の給食費の無償化を令和4年1月から実施しています。第1子、2子が大学・高校生でも扶養に入っている場合には、中学生の第3子の給食費を無償化することにして、子育て世帯の実質的な負担の軽減につなげています。

対策06 7月に局長級の危機管理監と危機管理部を設置！災害に強い初動の速い市役所に。

7月に局長級の危機管理監と危機管理部を設置し、市長と危機管理監が災害時にいち早く協議し、初動をより迅速に行える体制を整えました。7月と8月の台風、豪雨の際には、雨が激しくなる前に避難所を開設したほか、避難指示を出すなど早速効果が現れています。さらに4月には都市安全課を設置しました。



市産品のブランド戦略
千葉市食のブランド「千」を進めています

千年後も豊かに暮らせる千葉市を「食」から実現すべく、千年先まで育てつなげていきたい千葉市の食を、農産品、加工食品、サービスまで幅広い分野から、食のブランド「千」に認定しています。令和3年は8商品と1サービスを認定しました。

子育て世帯向け給付金10万円を全額現金で年内振り込みを実施

コロナ禍で負担の大きい子育て世帯の支援のため、国が10万円を現金とクーポンに分けて支給する事業を実施しましたが、クーポンは支給が遅れ新年度の準備に間に合わないため、全額現金での給付を国に要望し、年内に全額現金での振り込みが実現しました。

